

第 15 回 ALPS 研究会

日時： 2023(令和 5 年)年 7 月 8 日(土曜日)12:00 より

場所： 鶴見大学会館

〒230-0062

神奈川県横浜市鶴見区豊岡町3-18

| | | |
|-------------|-----------|-------------------|
| 11:15～11:55 | 幹事会 | 鶴見大学会館 2 階研修室 202 |
| 12:10～13:00 | ランチョンセミナー | 鶴見大学会館 2 階サブホール |
| 13:10～14:00 | 特別講演 | 鶴見大学会館 2 階サブホール |
| 14:00～ | 患者会 | 鶴見大学会館 2 階研修室 202 |
| 14:15～15:50 | 一般講演 1, 2 | 鶴見大学会館 2 階サブホール |

アクセス： <https://www.tsurumi-u.ac.jp/site/about/accessmap-index.html>

JR京浜東北線鶴見駅西口改札より徒歩約 5 分。

京急鶴見駅改札口より徒歩 7 分

連絡先：第 15 回ALPS研究会世話人

二藤 彰（鶴見大学歯学部薬理学講座 教授）

TEL:045-580-8451(研究室直通)



鶴見大学会館

参加者の皆様へ

- ・参加費 3,000 円を受付でお支払ください。
- ・ネームタグをお渡しいたします。各自記入の上、研究会開催中はお付けください。

発表者の皆様へ

1. 発表時間

- ・一般演題:発表 8 分 討論 3 分 合計 11 分

2. 発表方法

- ・口演は、全て一面のみのパソコンによるプレゼンテーションです。
- ・スライド表記は日本語あるいは英語、ご発表は日本語をお願いします。
- ・発表者の持ち込み PC にて発表をお願い致します。HDMI 接続、RGB 接続が可能です。
- ・USB メモリ等で発表データのみをお持ちになる場合は、前日までに必ずご連絡ください。
- ・次演者は演台前の次演者席で待機をして下さい。
- ・発表終了 1 分前と終了時に呼鈴でお知らせします。

第 15 回 ALPS 研究会

講演プログラム

< 鶴見大学会館 2 階サブホール >

12:00～12:10 開会の辞 二藤 彰(鶴見大学)

12:10～13:00 ランチョンセミナー (共催:アレクシオンファーマ合同会社)

窪田拓生先生(大阪大学 大学院医学系研究科 小児科学)

“低ホスファターゼ症の最新知見—グローバルレジストリと日本のデータから—”

13:10～14:00 特別講演

三品裕司先生(ミシガン大学歯学部生命材料科学科)

“顔面形成における増殖因子と環境因子の協調作用”

14:15～15:05 一般講演 1

- P1. CRISPR/Cas9 を用いた低ホスファターゼ症 iPS 細胞モデルの樹立および解析**
山崎美和¹、上田亜侑^{1,3}、中西達郎^{1,2}、立川加奈子¹、川井正信¹、大藺恵一²、道上敏美¹
¹ 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 研究所 骨発育疾患研究部門、² 大阪大学大学院 医学系研究科 小児科学、³ 大阪大学大学院 歯学研究科 口腔外科学第一
- P2. HPP 患者由来 iPS 細胞を応用した象牙芽細胞の機能異常の解明**
野添 彬^{1,2}、宮川 和晃^{1,3}、中野 知帆¹、武鍵 真司²、藤原 誠²、大幡 泰久²、大藺 恵一²、窪田 拓生²
¹ 大阪大学大学院歯学研究科口腔外科学第一、² 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、³ 大阪大学医学部附属病院 歯科治療室
- P3. 低ホスファターゼ症の間葉系幹細胞に対するタウリンの効果**
Kamrunnahar Shanta¹、松井美樹¹、小田泰昭¹、服部美保²、Yang Jiahao¹、Liu Lu¹、宮本憲一³、宮本尚世²、後藤月美⁴、松崎有未³、竹谷健¹
¹ 島根大学医学部小児科、² 島根大学医学部再生医療センター、³ 島根大学医学部生命科学講座、⁴ 島根大学医学部附属病院検査部

- P4.** アネキシンA5(Anxa5)の中枢における機能とアルカリフォスファターゼの関与
小松浩一郎¹、出野 尚¹、中島和久¹、織田公光²、網塚憲生³、二藤 彰¹
¹鶴見大学歯学部薬理学講座、²新潟大学、³北海道大学硬組織発生生物講座

15:10～15:50 一般講演 2

- P5.** 低ホスファターゼ症に対する新規治療薬(遺伝子治療薬: ARU-2801)の有効性の検討
松本多絵^{1,2}、三宅紀子³、趙東威²、田中悠介²、Mohammad Shadid⁴、成澤園子⁵、折茂英生⁶、島田隆³、José Luis Millán⁵、三宅弘一²
¹日本医科大学小児科学、²日本医科大学遺伝子治療学、³日本医科大学分子遺伝学、⁴ Aruvant Sciences, Burlington, MA, USA、⁵ Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham-Prebys Medical Discovery Institute, La Jolla, CA, USA、⁶日本医科大学代謝栄養学

- P6.** 低ホスファターゼ症に対する新規治療薬(遺伝子治療薬: ARU-2801)の安全性の検討
Safety of a Novel Therapeutic Agent (Gene Therapy drug: ARU-2801) for the Treatment of Hypophosphatasia
趙東威¹、松本多絵^{1,2}、三宅紀子³、田中悠介²、Mohammad Shadid⁴、成澤園子⁵、折茂英生⁶、島田隆³、José Luis Millán⁵、三宅弘一¹
¹日本医科大学遺伝子治療学、²日本医科大学小児科学、³日本医科大学分子遺伝学、⁴ Aruvant Sciences, Burlington, MA, USA、⁵ Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham-Prebys Medical Discovery Institute, La Jolla, CA, USA、⁶日本医科大学代謝栄養学

- P7.** 酵素補充療法を施行している周産期重症型低ホスファターゼ症症例の長期経過
中山尋文^{1,2}・北岡太一¹・石見壮史¹・山田知絵子¹・中野由佳子¹・野添彬²・山本賢一^{1,3}・藤原誠^{1,3}・大幡泰久¹・窪田拓生¹・大藺恵一¹
¹大阪大学大学院 医学系研究科 小児科学、²大阪大学大学院 歯学研究科 顎顔面口腔外科学、³大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 生命育成看護科学講座

16:00 閉会の辞 二藤 彰先生(鶴見大学)

進行表

| | 研修室 202 | サブホール |
|-------------|---------|-----------|
| 11:15～11:55 | 幹事会 | - |
| 12:10～13:00 | - | ランチョンセミナー |
| 13:10～14:00 | - | 特別講演 |
| 14:00～ | 患者会 | コーヒーブレイク |
| 14:15～15:50 | | 一般講演 1, 2 |